

6) 首里城歴史文化継承基金（首里城未来基金）事業

幸喜 淳¹・泉 千尋¹・嘉手苺なつき¹

キーワード：人材育成 伝統技術 継承 建造物木工 木彫刻 沖縄県人材育成事業

1. はじめに

本事業は、令和4年に、内閣府沖縄総合事務局・沖縄県・一般財団法人沖縄美ら島財団・沖縄県立芸術大学の4者で締結された「首里城復元における技術継承・人材育成にかかる連携協定」に基づき、令和8年に完成予定の正殿、その後復元予定の南殿等の焼失建物の復元、復元後の補修・修理に必要な伝統技術を継承するために、沖縄県設置の「首里城歴史文化継承基金（首里城未来基金）」による伝統的建築技術に係る人材育成を行う。また、技術継承に係る人材ネットワーク構築し、技術継承を図るものである。当財団は人材育成事業の事務局を担っている。

2. 事業概要

本事業では、建造物木工分野と木彫刻分野の2分野の研修を実施し初年度である令和5年度は、建造物木工分野4名、木彫刻分野3名が受講した。また、2分野のアドバイザー（建造物木工：平良啓（公社）沖縄県建築士会会員、木彫刻：波多野泉沖縄県立芸術大学学長）を選出し、事業への助言をいただいた。

1) 講義

研修カリキュラムは、建造物木工分野は計91時間（講義25時間、実習46時間、先進地視察等20時間）、木彫刻分野では計122時間（講義24時間、実習78時間、先進地視察等20時間）であった（表-1）。また、本事業は、文化庁の伝承者養成事業と連携し、共同での講義を実施した（表-1「※」）（写真-1, 2）。

2) 視察

先進地視察は奈良県を訪問し、関係機関の協力のもと、法相宗大本山 興福寺の五重塔修復現場、美術院奈良国立博物館工房内の仏像修理現場、平城宮跡歴史公園内の東楼工事現場（写真-3）、聖徳宗総本山 法隆寺、法相宗大本山 薬師寺等（写真-4）、未公開施設を含め、修復技術者・宮大工・住職から木造建造物・木彫刻の技術等の説明を受けることができた。研修生と説明者との活発な質疑を通して、伝統技術の知識・技術継承の心得等を習得できた。またデジタルツールを用いた宮大工の工事現場や、往時の技法に現代工法を取り入れた宮大工の技に感銘を

受けた研修生もおり、この視察が新しい形の宮大工を目指す動機付けにもなった。

また、県内視察先の首里城正殿復元工事現場では、建造物木工分野アドバイザーの平良啓氏、宮大工の近藤棟梁・奥野副棟梁より復元工事の詳細について説明を受けた（写真-5）。

3) 分野別専門講義・実習

(1) 建造物木工分野

金城稔氏（金城建設）の専門講義では、保存修理工事を行った重要文化財の新垣家住宅（那覇市・壺屋）について、修理時の写真も交えた解説があった。古材への番付や修復事例のほか、新垣家住宅での特に高度な伝統的貫構造について講義を受けた。実習では、釘を使用せず木材同士が引き合うよう精密に加工し連結を強化させる伝統技法「貫構造」を用いたテーブルの製作を、原寸図作成から実施した（写真-6, 7）。

(2) 木彫刻分野

沖縄県立芸術大学の波多野学長の専門講義では、平成の首里城正殿復元時の葡萄栗鼠の彫刻等について解説があった（写真-8）。実習では、同大学講師の長尾恵那氏が見本を示しながら研修生を個別指導し、正殿御差床羽目板の葡萄栗鼠の彫刻製作を下絵作成から実施した（写真-9, 10）。

また、県内類似事例視察では、沖縄県立博物館・美術館に収蔵されている旧円覚寺木彫刻資料・漆塗装作業中の広福門扁額の彫刻・制作中の扁額「中山世土」正龍の熟覧を行った（写真-11）。

3. 外部評価委員会コメント

伝統技術の継承に不可欠な人材育成に取り組む、財団ならではの重要な事業である。（高良顧問：琉球大学名誉教授）

¹ 琉球文化財研究室

表-1 講義・実習・先進地視察等

2分野 共通講義		
令和5年 9月2日(土)	開講式	沖縄県立芸術大学学長 波多野 泉/ 沖縄県職員他
	首里城等復元 事業(県)/首 里城未来基金 概要	沖縄県首里城 復興課 課長 知念秀起
※9月6日(水)	文化財概論	文化庁 文化財調査官 結城啓司
	首里城正殿復 元工事概論	国営沖縄記念 公園事務所 首里出張所 所長 新垣博愛
※9月15日(金)	沖縄の建造物 概論	公益社団法人 沖縄県建築士会 平良 啓
9月12日(火)・ 9月13日(水)	文化財概説/ 文化財保存修 復概説	東京藝術大学 准教授 岡田 靖
	文化財の模刻 と調査技術等	
※令和6年 1月23日(火)	琉球建築の屋 根構造と瓦施 工	公益社団法人 沖縄県建築士会 元会長 中本 清
2分野共通 先進地視察・県内類似事例視察		
令和5年 12月14日(木) ～12月17日(日)	先進地視察 (奈良県)	美術院・平城 宮跡歴史公園 ・興福寺・法隆寺 ・薬師寺
令和6年 2月9日(金)	建造物木工技 術(首里城復 元工事)/木工 現場視察	平良啓氏 首里城正殿復 元工事担当者 (近藤棟梁・ 奥野副棟梁)
建造物木工 専門講義		
令和5年 10月6日(金)	建造物 木工技術	金城建設 金城 稔
建造物木工 専門実習		
10月13日(金) ～令和6年 3月1日(金)	建造物 木工技術	金城建設 金城 稔

木彫刻 専門講義		
令和5年 11月21日(火)	木彫刻技術	沖縄県立芸術大学 波多野 泉
木彫刻 専門実習		
11月23日(木)～ 令和6年 3月12日(火)	木彫刻技術	沖縄県立芸術大学 波多野泉 長尾恵那
木彫刻 県内類似事例視察		
令和5年 11月17日(金)・ 11月28日(火)	扁額等漆塗装 現場視察	漆芸工房 諸見由則



写真-1 開講式



写真-2 講義(知念沖縄県首里城復興課長)



写真-3 先進地視察(奈良県 平城宮跡歴史公園)



写真-4 先進地視察（奈良県 薬師寺）



写真-8 木彫刻専門講義（波多野アドバイザー）



写真-5 首里城正殿復元工事現場（平良アドバイザー）



写真-9 木彫刻分野 実習（長尾講師）



写真-6 建造物木工 実習（金城講師）



写真-10 木彫刻分野 実習



写真-7 建造物木工 実習



写真-11 県内類似事例視察
扁額「中山世土」正龍の熟覧（諸見講師）